

## 第11回 東備西播定住自立圏形成推進協議会 会議録

- 1 日時 平成25年3月14日(木) 15:30～16:15
- 2 場所 赤穂市役所 6階 大会議室
- 3 出席者
  - (1) 委員 豆田正明(赤穂市長)  
明石元秀(赤穂市副市長)  
田端智孝(赤穂市議会議長)  
瓢 敏雄(赤穂市議会副議長)  
武内清志(備前市副市長)  
尾川直行(備前市議会議長)  
工藤 崇(上郡町長)  
山本守一(上郡町議会議長)  
大政正明(上郡町議会副議長)
  - (2) 幹事 赤穂市:高山市長公室長  
備前市:三村総務部長  
上郡町:宮下企画財政課長
  - (3) 事務局及び各市町担当者  
赤穂市:東南企画広報課長、平野企画政策係長、宮本主査  
備前市:森脇企画課長、田原企画課参事  
上郡町:井上企画政策係長
  - (4) 説明員 ①教育施設部会:満重部会長(赤穂市スポーツ推進課長)  
②給食部会 :田淵部会長(上郡町学校教育課長)  
③観光部会 :永石部会長(赤穂市観光担当課長)  
④農林商工部会:安部部会長(赤穂市地域活性化推進担当参事)  
⑤交通部会 : (森脇部会長)  
⑥通信情報部会:沼田部会長(赤穂市情報政策担当課長)  
⑦職員部会 :藤本部会長(赤穂市人事課長)  
⑧交流定住部会:(東南部会長)  
⑨地域医療分野:矢野赤穂市民病院事務局長  
⑩環境分野 :橋本赤穂市環境課長
- 4 会議の概要
  - (1) 開会
  - (2) 会長あいさつ
  - (3) 報告事項  
東備西播定住自立圏共生ビジョン(第3回変更)について
  - (4) 協議事項  
平成25年度東備西播定住自立圏形成推進協議会予算について
  - (5) その他
  - (6) 閉会

## 5 議事の概要

事務局

定刻になりましたので、ただ今から、第11回東備西播定住自立圏形成推進協議会を開催いたします。

司会進行の赤穂市市長公室長の高山です。よろしくお願いします。

さて、議事に入ります前に、本日の協議会に傍聴の申し出がございます。

会議の傍聴につきましては、本協議会「会議規程」第2条で原則公開となっておりますが、出席委員の過半数の決定により非公開とすることができます。

本日の議事内容は、お手元のとおりでありますので、会議の冒頭から傍聴を認めたいと思います。

また、写真等の撮影希望があれば「会長あいさつ」までとし、会議中の撮影、録音はできないこととしたい、と考えておりますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声)

異議なしというお言葉をいただきましたので、傍聴を認めるということで、傍聴の方にお入りいただきます。しばらくお待ちください。

(傍聴者、報道入室)

どうもお待たせいたしました。

報道の方をお願いいたします。会議中の写真撮影等をご遠慮いただきますので、ご希望があれば、ただ今から会長あいさつまでの間、写真等の撮影を認めたいと思います。必要な方は、この時間をお願いいたします。

(撮影)・・・よろしいでしょうか。

それでは、開会にあたりまして、会長であります赤穂市の豆田市長よりごあいさつを申し上げます。

豆田会長

本日は、お忙しい中、第11回東備西播定住自立圏形成推進協議会にご出席を賜り、誠にありがとうございます。10月以来の開催となりましたが、特に備前市、上郡町におかれましては、3月定例会の開催中という大変お忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。

さて、東備西播定住自立圏構想につきましては、皆さんご承知のとおり、昨年3月から運行いたしております圏域バスをはじめ、圏域全体の魅力の向上と、活力ある地域を作るため、共生ビジョンに基づく様々な事業を実施しているところであります。

来年度も、引き続き3市町の住民交流を積極的に推進いたしますとともに、地域の活性化が図られますよう、多様な事業を実施してまいりたいと考えております。

本日は共生ビジョンの変更についての報告のほか、平成25年度予算について、ご協議をいただくこととしております。

委員各位の忌憚のないご意見をいただきますようお願い申し上げまして、簡単ではありますが、開会のあいさつとさせていただきます。

どうぞよろしくお願いいたします。

事務局

ありがとうございました。

報道関係の方、以上で撮影の時間を終了いたします。

議事に入ります前に、

本日、備前市長 西岡副会長、備前市議会副議長 川淵委員より欠席の連絡を受けておりますので、ご報告申し上げます。

なお、お手元には委員名簿及び本日出席の部会名簿を配布しておりますので、後ほどご覧ください。

それでは会長、議事進行をお願いいたします。

豆田会長

それでは、3の報告事項に入ります。  
東備西播定住自立圏共生ビジョン 第3回変更について、であります。  
事務局、説明をしてください。

事務局

それでは、東備西播定住自立圏共生ビジョンの第3回変更について説明させていただきます。お手元の共生ビジョンと共生ビジョン変更箇所一覧をご覧ください。

まず、共生ビジョンは、中心市であります備前市が主催します「共生ビジョン懇談会」での検討を経て、毎年度所要の変更を行うこととなっております。このため、本日報告する内容は、「共生ビジョン懇談会」において協議、承認されたものでございます。

今回の変更は大きく分けて3点です。

1点目は新規事業として5事業をビジョンに追加したこと、2点目はビジョンの内容の変更として「上郡町学校給食施設整備事業に関する取組事業内容」に関する変更、法律の改正による文化・スポーツ交流事業の中の文言の変更、3点目は平成25年度予算に関する事業費の変更であります。

最初に変更の箇所についてA4横の変更箇所一覧により説明いたします。左から変更箇所、ページは共生ビジョンのページを記載しております、変更前の内容、変更後の内容となっており、変更箇所を下線で示しております。変更箇所を最初に説明した後に、ビジョンの冊子で内容につきまして説明いたします。

表紙につきましては、今回第3回変更に係る表記の変更です。

変更箇所2ページにつきましては、国勢調査等に基づく、日本の総人口（推計）の変更による人口の変更であります。

変更箇所3ページにつきましては、備前市の面積の変更であります。

6ページは医療に関する事業の平成25年度予算に関する事業費変更です。

7ページは、新規事業として圏域住民診療支援事業の追加であります。内容については、共生ビジョンの冊子で説明いたします。

9ページは指定文化財・文化施設等巡りツアーの事業費の変更、11ページは文化・スポーツ交流事業の事業費の変更とスポーツ基本法の施行による文言の変更、12ページは、新規事業としてトップアスリート等招聘事業の追加です。

13ページは同じく新規事業として、中学校吹奏楽部交流助成事業のビジョンへの追加とその下、赤穂市文化会館整備事業の25年度事業費予算額の変更、14ページも新規事業として、備前市生涯学習施設整備事業のビジョンへの追加です。

15ページは上郡町の学校給食施設整備事業の事業内容と事業費の変更で、16ページ、17ページ、18ページから23ページまでにつきましてもそれぞれの事業費の変更であります。

変更箇所一覧の最後のページは、24ページに新規事業として、こどもと学生のふれあい活動支援事業を、25ページは定住相談会開催等事業、28ページには、総事業費の変更となっております。

次に共生ビジョンの冊子によりまして、先ほどの事業費を各事業の25年度の内容と合わせて説明させていただきます。共生ビジョンをご覧ください。

まず、1ページから5ページにつきましては、最初に説明した日本の推計総人口を変更と備前市の面積を変更しております。

6ページをお開きください。医療連携研究会事業は、研究会を25年度は2回予定しております事業費は33万1千円です。次に医療情報研究会事業は、職種ごとに10回の研究会を予定しております事業費は4万7千円あります。

7ページは新規事業で、圏域住民診療支援事業であります。事業内容は、備前市民及び上郡町民が、圏域の中核病院である赤穂市民病院で出産した場合の助産料について、赤穂市民が負担する額と同額にするものです。圏域内住民の助産料を同一化することにより、妊婦の負担を軽減することにより、安心して生み育てることができる環境づくり及び圏域の活性化に寄与する効果が見込まれます。事業費は、過去の分娩実績から算出し、148万円であります。

9ページ、下の段、指定文化財・文化施設等巡りツアー事業につきましては、25年度につきましても各市町を巡るツアーを実施予定で事業費は42万8千円です。

11ページ上段、図書館相互利用推進事業につきましては、事業費はありませんが、相互利用の推進を図るよう引き続き実施いたします。

11ページ下段ですが、文化・スポーツ交流事業につきましては、スポーツ推進委員による研修会及び圏域住民のスポーツ交流事業を実施し、事業費は20万円であります。事業内容中の文言を、体育指導委員からスポーツ推進委員に変更しています。

12ページ上段の文化・スポーツ施設相互利用促進事業につきましては、事業費はありませんが、引き続き相互交流を深めてまいります。

12ページ、下の段は新規事業で、トップアスリート等招聘事業です。事業内容は、国内外で活躍するトップアスリートやトップチームを招聘し、一部観客参加イベントを実施するなどの魅力あるイベントを3市町の体育館施設等で開催します。事業費は294万円を計上しています。

13ページ上の段ですが、新規事業で中学校吹奏楽部交流助成事業です。事業内容は3市町の教育委員会が、音楽を通じた地域活性化に取り組む市民団体「3Mプロジェクト」と連携して実施する3市町の中学校吹奏楽部交流事業に対して助成するものです。事業費は補助金として80万円を計上いたしています。

次の赤穂市文化会館整備事業は、赤穂市負担の事業で、施設設備等の改修を行う最終年度として1億3,100万円を計上しています。

14ページですが、新規事業として備前市生涯学習施設整備事業です。

この事業は備前市負担の事業で、事業内容は、備前市市民センター及び日生市民会館の整備事業で、「図書館相互利用推進事業」の拠点施設となる図書館を含む複合施設で経年劣化により改修の必要があるため施設設備等の整備を行うものです。事業費は4,301万2千円を計上しています。

15ページ、上郡町学校給食施設整備事業は、事業内容と事業費の変更であります。変更後の内容につきましては、連携の内容をより具体的に記載したもので、施設整備の事業費は2億3,637万4千円を計上していますが、この事業につきましても、上郡町負担の事業であります。

16ページ、地域ブランド発掘事業は、引き続き、相談会の開催や地域ブランド特産品創造のための助成経費などで、事業費は153万7千円です。

17ページ、観光振興推進事業は、観光キャンペーン等で3市町が一体となった観光施策を実施し、25年度は定住自立圏がPRできるポスターの作成を予定しており、事業費は183万円であります。

18ページ、有害鳥獣対策事業は、引き続き有害鳥獣の捕獲を共同で行ってまいります。事業費は62万5千円であります。

19ページ、企業誘致促進事業は、3市町合同で企業誘致促進のための事業を行ってまいります。事業費は205万円であります。

20ページ、上段、圏域運行バス調査・検証事業は、圏域住民のみなさんの移動手段の確保、利便性の向上及び地域の活性化を図ることを目的に、平成24年2月27日から上郡駅から赤穂市民病院間の上郡ルート、3月5日に吉永病院か

ら赤穂市民病院経由のイオン赤穂店前の備前ルートの試験運行を行っています。試験運行2年のうち1年が経過しますが、2月末現在の運行状況を申し上げますと、上郡ルートの1日当たり利用数が19.1人、市町域越えの利用者が2.4人、備前ルートの1日当たり利用数が12.6人、市町域越えの利用者が2.3人、両ルートでは、1日当たり利用数が31.5人、市町域越えの利用者が2.3人であり、運行基準の1日当たりの総利用者16人、市町域を越える利用者1便当たり1人超えを上回っております。

実証運行結果をとりまとめ、事業者や関係者で構成するバス検討会議において報告、協議を行い、本格運行に向けて進めてまいりたいと思います。

事業費は25年度で2,525万円を予定しております。

次のJR利便性向上事業は、3市町合同でJR等関係機関へ要望活動を行います。事業費は13万円であります。

21ページ、地域情報活性化事業は、24年度導入した圏域のポータルサイト「ともしんく」にかかる各市町ホームページとの連携システム改修経費であり、事業費は532万2千円であります。

次に23ページの上段、民間イベント等助成事業につきましては、引き続き、民間事業者等が住民交流の促進と賑わいを創出することなどを目的に圏域内の複数市町で実施するイベントに対して助成を行うもので、実施団体が増加していることから事業費は306万円を計上しています。

次の赤穂国際音楽祭開催助成事業につきましては、24年度から赤穂市と姫路市が共同で開催しており、24年度同様、助成を行うもので事業費は100万円であります。

24ページは新規事業でこどもと学生のふれあい活動支援事業です。事業内容は関西福祉大学の学生がボランティアで実施をしている宿題教室等の活動に対する補助であります。事業費は11万円でございます。

25ページ、定住相談会開催等事業につきましては、引き続き3市町合同により定住相談会を開催する経費で、25年度も引き続き東京都内、大阪市、神戸市内の3箇所で開催し、事業費は210万円であります。

26ページ、職員研修事業につきましては、圏域内の共通の課題をテーマに、他の先進地を視察し、研修報告会を実施するなど職員研修経費で事業費36万円であります。

次の職員研修参加交流事業、27ページの人事労務担当職員研究会（交流）事業、専門家招へい事業、職員交流（派遣）事業につきましては、事業費はございませんが、3市町の職員を対象にそれぞれ実施したいと考えております。

28、29ページにつきましては、事業の一覧表です。見出しの下の総事業費につきましては、26年度までで10億2,721万4千円となっております。

また、25年度総事業費は4億6,298万6千円で、このうち、赤穂市文化会館整備事業1億3,100万円、備前市生涯学習施設整備事業4,301万2千円及び上郡町学校給食施設整備事業2億3,637万4千円を除きます事業が、平成25年度協議会が直接実施する事業となります。

続きまして、「共生ビジョン懇談会」の協議内容について、備前市よりご報告させていただきます。

それでは、東備西播定住自立圏共生ビジョン懇談会の懇談概要について簡単にご報告申し上げます。

共生ビジョン懇談会は、毎年行う定住自立圏共生ビジョンの見直しの際に開催することとなっており、昨年は、11月5日に備前市役所において開催致しております。

会議では、平成24年度のビジョン取り組み状況を報告した後、平成25年度の変更ビジョンについてご承認いただきました。

なお今回は、委員の皆様との意見交換も行っております。委員やアドバイザーの先生からいただきました主なご意見等について、資料によりご紹介します。

**【医療関係】**

- ・助産料の支援は非常にありがたい。
- ・圏域のお年寄りが元気に暮らしていける環境づくりを検診等の充実を図り行っていくことが大切。スポーツや文化等の事業開催時にドクター派遣の依頼があれば、医師会で協力していく。

**【企業誘致関係】**

- ・企業誘致も大切だが、今ある企業が逃げていかないようにすることも非常に大事。今ある企業は理由があつてそこに来ている。なぜそこに来たかということを探りながら新たな企業の誘致を進めるとともに、今ある企業が逃げないようにしていかなければならない。

**【産業振興】**

- ・地域活性化のため、中心市街地に人を呼び込もうと活動しているが、なかなか難しい。共生ビジョンの中で産業があまり取り上げられていないので、もう少し充実してもらえればと思う。

**【情報通信】**

- ・情報の共有化は様々な取り組みを推進するうえで非常に重要である。地域情報ネットワークシステム、コミュニティサイトなど充実を図ってほしい。

**【交通関係】**

- ・カキ祭りなどイベント時は交通渋滞が激しい。道路整備にも力をいれてほしい。
- ・イベント開催時などは、バスのピストン輸送なども検討してほしい。
- ・市町のエリアという枠を超えて運行している「圏域バス」はありがたい。今後も長く運行が続けられるように期待している。ただ、まだ、「圏域バス」を知らない人も多いので、PRを積極的に行ってほしい。

**【文化・スポーツ】**

- ・閑谷学校の赤穂義士の精神は「忠義」といった儒教がもとになっているもので、相通ずるものがある。今後こういう面でもPRしていけば活性化が図られるのではないか。
- ・トップアスリートの招聘もいいが、もう少し底辺を広げてお年寄りにスポーツに親しんでいただくようなことで健康を維持し、その結果、医療費が削減されるというようなことも考えられる。

**【鳥獣被害対策】**

- ・農業をやっているものは、非常に関心が高い。結果を出してほしい。

次に、アドバイザーからのコメントについてご紹介します。

- ・共生ビジョンの目的は、「この地域の中で、末永く持続的に生活できる環境を作る。そして人口流出を防ぐためのダムの役割を果たしていく。」このためにビジョンを作っていくということ。そのビジョンは大きく3つ。1つ目は生活。生活とは、「医療」、地域を結ぶ「交通」、「買い物」。こういうところが非常に大事。もう一つが「産業」、そして3つ目が「ネットワークづくり」である。
- ・元気なお年寄りが多いというのは、非常にいい。お年寄りにいかに頑張ってもらおうかというように予防に力を入れているところが医療費を抑えている。元気なお年寄りが多いというのは財産であるので、これからどうしてい

くかを考えていってほしい。健康寿命を延ばすためのスポーツの普及は大切。皆さんがスポーツできるようなものを展開してほしい。

- ・人を呼び込むためには、地元がどれだけ誇りをもつかということが大事。この地域には閑谷学校や備前焼もあるし、赤穂義士という全国に誇れる歴史をもつというのは、その地域の人々のプライドになる。こうした財産を再評価し、これをどう生かすかという発想を考えてほしい。
- ・企業誘致については、撤退する企業が増加する中、非常に厳しいものがある。今ある企業をいかに大事にするかという考えは大切。「無いものねだり」ではなく「有るもの磨き」の発想。3団体が知恵を絞ってこの地域の中でどういう産業をおこしていくかということを実際に考えていかなければならない。
- ・交流人口を増やしていくことは重要。定住人口を増やすのはなかなか難しい。大事なのはいろんな人に来てもらい交流すること。交流分野はこの定住自立圏で一番進んでいる分野だが、地域内だけでなく地域外からの交流人口も増やしてもらいたい。
- ・サイトによる情報発信で、この定住自立圏でどういうことをしているかということをごんごん情報発信していってほしい。
- ・圏域バスについては、補助が終わったら終わりではなくて、補助が無くても民間が自立的にやっていけるように、民間に引き継げるように考えていってほしい。
- ・地域の農業を守っていくためにも、行政エリアを超えた鳥獣被害対策にも力を入れていただきたい。

共生ビジョン懇談会での意見等についての報告は、以上です。

豆田会長

事務局の説明は終わりました。  
報告事項について何か質問等ありますか。

工藤副会長

備前市さんからも今報告がありましたとおり、助産料の支援は非常に有り難いと思っています。また、圏域バスも本当に有り難く、赤穂市長さん、備前市長さん、また関係各位に心からお礼申し上げます。

そこで、1つお願いがあるのですが、上郡町から圏域バスを使って赤穂市や赤穂市民病院へ行くルートについて、今、上郡ルートでは上郡駅からイオンタウンを経由しまして、国道373号線そして2号線を通って赤穂市へ運行しています。そこでお願いといたしますのは、起点は同じ上郡駅前として、週に2日でも結構ですので、上郡町の船坂地区を経由して2号線を通り、西有年地区の方々も乗れるようにして赤穂市の市街地へ運行するルートを検討していただきたいのですが、どうでしょうか。

事務局

バスルートにつきましては、協議会としましては、委員さんからの要望や住民の方の要望も、可能なら受け入れていきたいと考えていますが、一方で、実際運行するバス事業者、それからタクシー事業者などで構成するバス検討会議で十分に協議のうえ決定されるべきものと考えております。協議会としましては、そのようなご意見があることを念頭におきまして今後協議をしていきたいと思っております。

豆田会長

他にありませんか。はい、尾川委員。

尾川委員

備前市の尾川でございます。今の段階で要望というのは気になるところです。

が、J R 利便性向上事業について、交通系 I C カードというのが 3 月 23 日からかなり広範囲になって、情報によりますとカードが 8000 万枚くらい発行されており日本の駅の約半数で利用できると聞いています。

備前市は、赤穂線にしても山陽本線にしても備前市内に入ると交通系の I C カードが全く使えないという状態です。この J R 利便性向上事業の目的とは少し異なるとは思いますが、是非この交通系の I C カードの設置、つまりは自動改札機の設置の活動をやっていただければと、この場を借りて要望したいと思います。

もう一点は、変更のありました子供と学生のふれあい活動支援事業で、この事業内容について、圏域内の大学であるという指定があるのですが、私は、指定がどの程度の指定か分かりませんが、備前市でも今回、土曜日に塾をやるというような動きになっていまして、関西福祉大学だけでなく、岡山大学も含めて検討していただきたいと思います。

豆田会長 J R の関係は、県境協議会で岡山支社なり神戸支社に行ってますので、そのあたりの状況も踏まえて説明願えますか。

事務局 まず J R 利便性向上事業ですが、県境協議会におきましても、先ほど会長が申しましたとおり、現在、神戸支社と岡山支社に対して、色々な要望を行っているところでございます。

その中で I C カード化につきましては、現在備前市、上郡町、赤穂市の 3 市町からの要望として、是非 I C O C A カードが使えるようにということを要望しています。今後も定住自立圏協議会からの要望として、同じ形で要望はしていきたいと思っております。

大学の件ですが、本年度から関西福祉大学の事業を圏域事業として共生ビジョンに掲載して実施することとしています。ご意見をいただきました岡山大学につきましては、今後の課題として検討していきたいと思っております。

大政委員 今の大学の件ですが、上郡町の中に兵庫県立大学の理学部がありまして、世界的にもトップクラスの成果を出しています。ですから、そういった所との交流も候補の中に入れていただければ有り難いと思います。

豆田会長 そうですね。事務局のほうで、先ほどありました岡山大学、それから圏域内にある県立大学理学部、これらも含めて次の課題ということで検討・調整してもらえたらと思います。

他に何かありますか。

工藤副会長 先ほど、備前市議長の尾川委員さんが言われたことと同じですが、上郡駅も自動改札機がないということに大変苦慮しています。今度、赤穂市の有年駅も新しくなりますし、私たちも頑張りますので、2 市 1 町全体として J R の利便性向上が図られるためのお力添えをいただきたいと思っております。

豆田会長 少し補足させていただきますと、私は現在県境協議会の会長をやっていますので、神戸、岡山支社から直接聞いていますが、毎回このカードの要望を出していますが、いつも「自動改札の設置には多額のお金がかかるので今のところ考えていません。」という非常につれない返事が返ってきます。

これには、辛抱強く、毎回毎回色んなところに行って要望していかなければならないですし、引き続き県境協議会でも強力に要望していきたいと考えております。

他にありませんでしょうか。

ないようでしたら、4に協議事項に入ります。

第15号議案 平成25年度 東備西播定住自立圏形成推進協議会予算について、であります。

事務局、説明をしてください。

事務局

それでは、お手元の議案書1ページをお願いいたします。

平成25年度 東備西播定住自立圏形成推進協議会予算について、説明いたします。

平成25年度予算としまして、歳入歳出の総額をそれぞれ5,270万円と定めたいものであります。

内訳について、説明いたします。2ページの歳入歳出予算をお願いいたします。まず、下側、歳出であります。

1款、総務費 1項、総務管理費 1目、一般管理費としまして、300万円を計上しています。内容としましては、臨時事務員に係ります賃金など、事務局運営経費で、昨年と同額であります。

次に2款、事業費 1項、事業費 1目、活動事業費として4,960万円で、昨年に比べ、1,090万円の増であります。内容としましては、先程、ご説明しました共生ビジョンの事業内容及び平成25年度事業費に基づき予算計上したものです。

内訳は、報償費81万1千円、旅費146万8千円、需用費267万4千円、役務費110万2千円、委託料2,277万7千円、使用料及び賃借料243万2千円、負担金補助及び交付金1,833万6千円です。

この額は、先程、共生ビジョンでご説明しました、赤穂市文化会館整備事業1億3,100万円、備前市生涯学習施設整備事業4,301万2千円、上郡町学校給食施設整備事業2億3,637万4千円を除く、全ての事業費となります。

また、一番下の段、予備費として10万円を計上し、歳出総額を5,270万円としています。

続きまして、上の段、歳入についてであります。

1款、分担金及び負担金としまして、4,570万円を計上しています。これにつきましては、説明欄にも記載しておりますとおり、備前市さんからの負担金を予定しています。

次に、2款、繰越金としまして、24年度執行残の見込み額として699万9千円を、また3款、諸収入として預金利子を単位計上し、歳入合計を5,270万円としています。

もう一度、1ページにお戻りいただきまして、第2条として、歳出予算の執行にあたりまして、「費目間流用ができるものとする。ただし、決算時において目的別の内訳を示し、説明するものとする。」としています。

平成25年度協議会予算の説明については、以上であります。

豆田会長

事務局の説明は終わりました。

予算について、何か質問等ありますか。

(なし)

ないようですので、平成25年度東備西播定住自立圏形成推進協議会予算につきましては、原案のとおり可決することで、ご異議ございませんか。

(異議なし)

それでは、「平成25年度東備西播定住自立圏形成推進協議会予算」につきましては、可決といたします。

次に5「その他」ですが、事務局から何かありますか。

事務局

本日ご決定をいただきました予算と共生ビジョンに基づき、各部会において25年度もさまざまな交流事業を実施してまいりますので、委員の皆様におかれましても、時間が許せば、ぜひご参加いただきますようお願いいたします。

なお、民間イベント等助成事業など、年度当初から実施したい事業につきましては、各市町の広報3月号で住民周知をさせていただきます。

次に、次回協議会の日程についてであります。新たな取り組みの検討等、今後の状況により、改めてお知らせさせていただきたいと思っております。

なお、平成24年度の決算報告につきましては、本来決算が出来しだい協議会を開催し、監査報告等を行うべきであります。他の案件がない場合は、まず書面で各委員に報告し、次回の協議会開催時に報告等させていただきたいと存じますので、ご了解いただきたいと思います。以上です。

豆田会長

次回開催につきましては、改めて通知させていただきたいと思っております。また、各種事業への参加についても、皆さん、よろしくお願ひします。

その他にありませんか。

ないようですので、本日の会議は終了いたします。

ご苦労さまでした。

了

(16時15分)